



Brush up Program
for professional

文部科学大臣認定

職業実践力育成プログラム（BP）



大阪医科薬科大学薬学部 薬剤師キャリア形成プログラム

事業概要

厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」が公表した「とりまとめ」（令和3年6月 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19562.html）において、「薬剤師の教育は、大学卒業・免許取得で完結するものではなく、卒後の生涯研修が不可欠である。」「薬剤師をとりまく様々な変化に対応するためには、常に自己研鑽に努めて専門性を高めていく対応が必要となる。」と提言されています。

地域医療構想において、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保するため、病床再編等、医療機関の機能分化・連携が進められるなど、医療提供環境は変革の時期を迎えています。また、医療・福祉・介護を地域で支える地域包括ケアシステムが構築されており、薬剤師は病院・薬局を問わず自身の置かれた立場において医療専門職として貢献することが求められています。

本プログラムは、今後の活躍が期待される薬剤師の育成を目的に、在宅医療に秀でた薬剤師の養成を目指します。本プログラムの履修修了者には、履修証明書を交付します。

スキルアップ講座：対面（実技）

臨床で活躍する薬剤師に求められる知識・技能の向上、ならびにチーム医療における薬学的管理に必要な評価能力、判断力、実践力を涵養します。さらに、在宅医療に従事する薬剤師に求められる各種技能を修得します。

漢方基礎講座：オンデマンド

勉強しても漢方薬がよく分からないと思っている薬剤師の先生方に、可能な限り簡便な言葉や考え方で解説します。さらに、薬学の立場から漢方薬を構成している個々の生薬の薬能（経絡的効能・効果）について理解を深め、各漢方薬の特徴をイメージ出来るように解説します。

先端医療講座：対面＋WEB

疾患ごとの病態と薬物治療について、専門の医師と薬剤師の講演によって学びます。医師と薬剤師の双方から学ぶことで、疾患を多面的に深く理解するとともに、最新の治療を理解することを目的とします

医療評価薬学：対面（一部オンデマンド）

日本や諸外国における医療制度及び薬事政策、医療技術評価、医薬品の臨床評価、医薬品に係るリスク管理のフレームワークについて概説します。

医療薬学総論：対面（一部オンデマンド）

医療薬学、薬学臨床および生物・予防薬学等の領域において必要とされる知識を修得し、各領域の連関を理解することを目的に最新の情報を提供するとともに、薬物専門家としてのプロフェッショナルリズム教育を学びます。